

こんにちは。地元の衆議院議員の中根かずゆきです。

今年も梅雨の季節がやってきました。テレビや新聞などで「大雨洪水警報」などと聞くと、ちょっとドキッとしてしまいますよね。毎年のように「十年に一度の大雨」という表現を耳にしています。最近は本当に豪雨災害が増えました。ここ埼玉県鴻巣市も、令和元年には台風19号により大きな被害を受けました。被災し、未だ不自由な生活を送られている皆さまには、改めてお見舞い申し上げます。

同じような被害を生まないため、荒川の治水事業を推進するよう、原口市長・中屋敷県議・市議の皆さまと共に働きかけを進めていきます。令和4年5月30日には、梅雨入りを前に地元保守系議員団の皆様方と工事の進捗確認を含めた荒川の視察を行いました。特に台風19号の際に越水被害が発生した(あるいはしそうな)地区として、糠田地区(渡内樋管上下流域)や大芦地区・荊原地区で堤防整備を推進しています。堤防を作るには用地の買収やその土地に文化財が埋まっているかの調査など、いくつかの段取りが必要であり、まだ完成には至っていませんが、これらの段取りが進んだところから、どんどん工事を進めていきたいと考えています。少しでも早く堤防が完成し、愛する鴻巣市が水害を気にせず安心して暮らせる街になるように、これからも取り組んで参ります。今年、参議院選挙、鴻巣市市長選挙が行われます。市県国が連携していくことは、鴻巣の未来を創造することに繋がります。私は、加藤ひできさんの政治活動を応援します。



鴻巣市 荊原地区視察



鴻巣市 大芦地区視察



鴻巣市 糠田地区視察



加藤ひできさんと

衆議員 国土交通委員長
自由民主党 衆議院議員

中根かずゆき



自由民主党 衆議院議員

野中あつし



私は7年前から自民党ケアラー議員連盟の事務局長を務めています。2年前、埼玉県では当時、自民党県議団の政務調査会長であった中屋敷慎一議員が取りまとめて、議員提案による全国初のケアラー支援条例が成立しました。今後、ケアラー(特にヤングケアラー)を支えていくためには市町村の協力が必要です。先日、鴻巣市議会議員「加藤ひでき」さんとヤングケアラー支援について長時間意見交換しました。福祉のプロである「加藤ひでき」さんと連携し、鴻巣市のヤングケアラー支援に取り組んでまいります。

現在、自民党の米政策に関わる委員会の事務局長を務めています。昨年の米の価格は、コロナ禍の影響を受け大幅に下がってしまいました。今月からナラシ対策(収入減少影響緩和交付金)により、令和3年度米の減少してしまった収入を補填(埼玉県は10aあたり19,564円)してまいります。米の消費が少子高齢化の影響で年々減少していますが、農業(特に米)は国の基であると思っています。海外にも目を向け消費拡大に挑戦していきます。一方、アメリカなどの干ばつ、ウクライナ情勢により小麦の価格が高騰しています。食料安全保障の観点から米から麦・大豆・飼料用作物への作付転換についても取り組んでまいります。



金子農林水産大臣へ米政策の推進に関して申し入れ



加藤ひできさんとヤングケアラー支援について意見交換

チャレンジ通信



なかやしき 慎一



第126代 埼玉県議会議長
埼玉県議会自由民主党議員団

水無月に思う

例年よりも少し早い梅雨入り、うっとうしい季節となりました。いかがお過ごしでしょうか?議長としての初采配となる県議会は17日に開会しました。副議長と共にしっかり取り組んでまいります。また、就任以来様々な公務に参加してきましたが、多くの方々との出会いから本県の「ポテンシャルの高さ」と人材(財)の「多士済々」さを改めて感じ入る日々を過ごしています。

6月1日には、FM NACK5の「GOGOMONZ」に出演させて頂き、MCの鬼丸さんとのやり取りで、私が提案者となって制定された「埼玉県エスカレーターへの安全な利用の促進に関する条例」のPR活動も行いました。地元でも「GOGOMONZ」の聴取者は多いようで、多くの方から「聴いたよ!」



とお声がけいただけ嬉しかったです。

さて、そうこうしているうちに、明後日22日は第26回参議院議員選挙の公示です。私は、政権与党の関口、西田二人の候補予定者を7月10日の投票日に向けて全力で支えて参ります。また、後の17日には鴻巣市の未来を左右する市長選挙の告示です。私は、自民党県連・支部推薦の加藤候補予定者「必勝」に向け全集中で取組中です。



4/5県選出国會議員への就任挨拶
関口昌一参議院議員

6月定例会 会期日程(予定)

6月17日(金)~7月7日(木)

議長就任後初の定例会となります。是非傍聴にお運びいただければ幸いです。

【発行責任者】芝寄和好 小谷 2161 ☎090-3102-5470 -討議資料-

芝寄和好 代表挨拶 私は6月2日に「このす自民」の会派代表となりました。私たちだからできる事、それは市と県と国が一本になり政策を訴え、鴻巣市に反映していく事です。これからも鴻巣市の発展に一層尽力していく所存であります。よろしくお願いいたします。

《令和4年6月議会報告》

【第2号補正 2億3,398万円】

新型コロナウイルスワクチンの4回目の接種にかかる費用

【第3号補正 8,219万円】

デジタル田園都市国家構想推進交付金は、岸田政権の新しい資本主義として、地方の良さを残しつつ、デジタルの力で大都市に負けない便利さを実現します。コウノトリ野生復帰センター敷地内にWi-Fi スポットを整備したマルシェの実施、公共施設のドローンによる精密点検と三次元の図面作成を実施します。

【第4号補正 5億4,126万円】

新型コロナ対策・支援措置第10弾として、のすっ子応援給付金支給事業として、18歳以下の子供1人あたり2万円を支給します。また国の緊急支援策への対応、公共交通運行支援事業等を実施します。

このす自民は、コロナ禍における原油価格・物価高騰等の対応をしたものであり、すべての補正予算に賛成しました。



会派代表
しばざき かずよし
芝寄 和好

成年年齢引き下げ

平成30年6月に民法の一部が改正され、本年4月1日より成年年齢の扱いが、今までの20歳から18歳へと変わりました。クレジットカード作成、携帯電話契約、ローン・賃貸物件の契約ができ、女性の婚姻届けが18歳に引き上げられると同時に親の同意がなくても結婚できるなど、社会参画の場が広がります。その反面、悪徳商法など社会悪にさらされる機会が多くなります。市では消費者被害の低年齢化や増加を懸念しており、注意喚起や相談窓口となる鴻巣市消費者生活センターの周知を行っています。また高校2年生に注意喚起の入ったチラシの配布などを行っています。18歳を迎えた方、これから迎える方、消費者トラブルにあったら、消費者ホットライン「188」に電話相談を！



まちづくり常任
委員会委員長
とんしよ すみえ
頓所 澄江

マイナンバーカードの普及促進

政府は、成長戦略の第一の柱として「デジタル田園都市構想」を掲げており、マイナンバーカードは、社会全体のデジタル化を進めるための最も重要なインフラです。本市は、マイナンバーカードを利用した申請が可能なマイナポータルサイトの「ぴったりサービス」や「埼玉県市町村電子申請システム」を活用した行政手続きのオンライン化について、関係各課と連携し推進していくとの答弁がありました。

マイナンバーカードの普及促進は、行政事務の作業効率化、市民生活の利便性の向上が期待できます。暮らしの中で必要性が増していくマイナンバーカードの普及をさらに促進していくよう求めました。



自民党広報車で街頭演説 関口まさかず参議院議員を応援しています

鴻巣市議会議員定数 26名から24名へ

報酬審議会より、検討要とされていた議員定数について、現在の議員定数26名を24名に変更する議員提出議案を賛成多数で可決しました。このす自民は、鴻巣市と人口が同規模の自治体の議員定数の平均が24名であることを根拠として、賛成しました。令和5年4月予定の鴻巣市議会議員選挙より適用されます。



熱い、エール、エール、エール...

加藤ひでき後援会事務所開所式 6月5日

原口和久鴻巣市長、中根一幸衆議院議員、野中厚衆議院議員、中屋敷慎一埼玉県議会議長、岡地優埼玉県議会議員、16名の鴻巣市議会議員が参加しました。大野元裕埼玉県知事からは激励のメッセージをいただきました。たくさんの方々有加藤ひできさんを応援しています。



鴻巣市議会議員
のもと けいじ
野本 恵司

新たな発想で鴻巣市の未来を創る

6月2日本議会において、大塚佳之議長、坂本国広副議長がそれぞれ辞職し、選挙により第63代鴻巣市議会議員長に就任いたしました。同じく選出された永沼博昭副議長とともに、円滑な議会運営に努めてまいります。

6月10日議会最終日の閉会にあたり、原口和久市長より、7月末日に迎える任期満了に際しての退任挨拶がありました。原口市長は5期20年の長きにわたり市政を担ってこられ、平成17年の鴻巣・吹上・川里との合併をはじめとする多くの実績を残されました。7月には参議院選挙のあとに鴻巣市長選挙が予定されています。私たちは新たな発想で鴻巣市の未来を創る決意をしております。



市民環境常任
委員会委員長
さかもと くにひろ
坂本 国広

憲法改正論議を推し進めます！

「コロナ禍」「ウクライナ」という現実を前に、今ほど憲法改正が問われている時は無いと思います。占領下に制定された日本国憲法には、「平和」「個人の権利」への尊重はあるが、国家観が欠落しており、「国家存立」「安全保障」の概念がありません。

コロナ禍や最近の大災害において、緊急事態条項の必要性が指摘されており、またウクライナ侵攻

では、あらためて自衛隊の重要性を認識しました。

自民党立党以来の党是である憲法改正を実現すべくその必要性をお伝えしていきます。

